

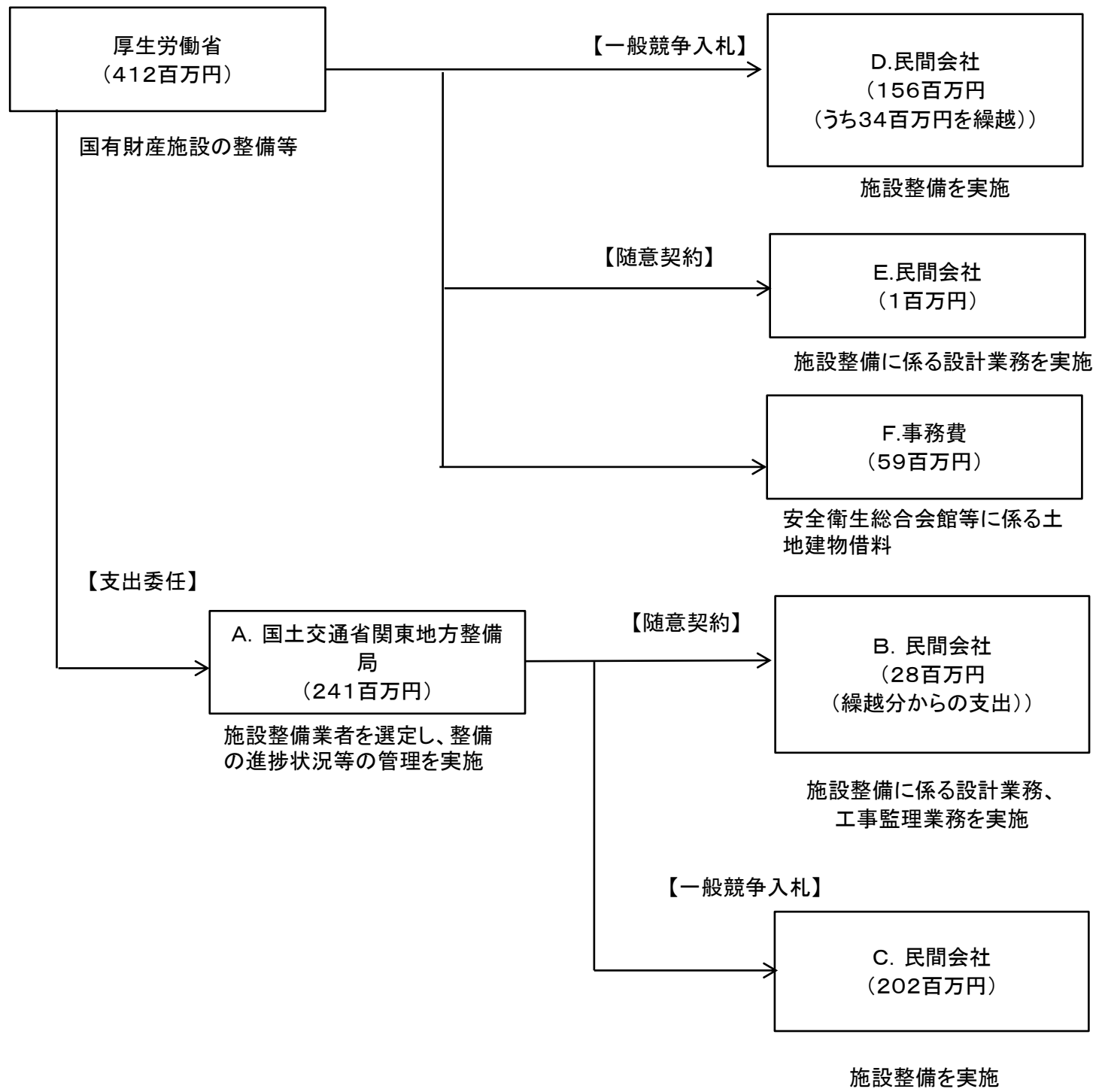
平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	安全衛生施設整備等経費			担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者	
事業開始年度	昭和23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	計画課		美濃 芳郎	
会計区分	労働保険特別会計労災勘定			政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号			関係する計画、通知等	第12次労働災害防止計画			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安全衛生施設については、労働災害の防止を目的として、労働安全衛生法に基づき、化学物質の有害性調査や安全衛生教育に従事する指導員の養成等を行うための施設として国が設置したものであるが、各施設において経年劣化が進行している状況にある。これらの施設をそのまま放置し、災害や事故が発生した場合、国の施設設置者としての責任を問われかねない重大な問題となることから、施設利用者の安全及び施設の円滑な運営を図るため、特別修繕を行う必要がある。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	安全衛生施設の特別修繕については、施設が毎年実施する保全実態調査及び国土交通省による実態調査等により、重要度・緊急度等を調査した上で、施設を適切に運営できるよう、特別修繕が必要なものを計画的に概算要求し、実施しているものである。平成27年度においては、化学物質についての動物の長期吸入有害性調査等を実施している日本バイオアッセイ研究センターの施設整備を実施するほか、国土交通省への支出委任により安全衛生総合会館の施設整備を行う。							
実施方法	直接実施、その他							
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算の状況	当初予算	274	238	454	783	精査中	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	28	34		
		翌年度へ繰越し	-	▲28	▲34	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計		274	210	448	817	0	
	執行額		257	153	412			
執行率(%)		94%	73%	92%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	日本バイオアッセイ研究センターの吸入実験装置等の整備及び建物付帯設備工事(1件)を実施し、同センターの主たる業務である動物による短期・長期吸入試験を円滑に行う。	整備及び建物付帯設備工事件数	成果実績	件	-	1	1	
			目標値	件	-	1	1	1
			達成度	%	-	100%	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	日本バイオアッセイ研究センターの吸入実験装置等の整備及び建物付帯設備工事に関し、予算の範囲内で、かつ、予定工期内に執行されるよう計画的に執行する。	活動実績	-	-	-	-	-	
		当初見込み	-	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
			計算式	X/Y	-	-	-	-
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	1						
	施設施工庁費	5						
	土地建物借料	66						
	施設整備費	711						
	計	783	0					

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している国の施設の整備であり、事業目的は国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	施設の設置者である国が修繕を実施するべきものである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している施設の整備であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	工事施工業者は、一般競争入札で選定しており妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している施設の整備であり、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出しており、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	国土交通省関東地方整備局が設計、積算し、真に必要な額として要望された額を支出委任している。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は見込みを上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	一般競争入札又は国土交通省への支出委任により調達しており、低コストで実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	経年劣化した施設を整備することにより、労働災害防止に係る調査・研究等が円滑に実施されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	本件事業については、翌債を活用し予算の範囲内で工事が完了するとともに、日本バイオアッセイ研究センターにおける化学物質の短期・長期吸入試験を円滑に実施することができたことから、成果目標及び活動指標を達成しているものと思料する。			
	改善の方向性	今後の安全衛生施設の施設整備においても、重要度・緊急度等を調査した上で、厳選して優先度の高いものを計画的に概算要求し、実施する。また、支出委任先が実施する工事の施工業者の選定方法、進捗状況、執行状況について、適宜報告を求め、適切な予算の執行となるよう努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	816
平成25年度	363	平成26年度	372		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

安全衛生施設整備等経費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.国土交通省関東地方整備局			D.柴田科学株式会社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	設計・工事費	国有財産の整備に係る工事費、整備に係る設計費等	241	工事費	国有財産の整備に係る工事費	68
	計		241	計		68
	B.(株)山田総合設計			E.株式会社蒼設備設計		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	設計費	国有財産の整備に係る工事費整備に係る設計費	19	設計費	国有財産の整備に係る工事費整備に係る設計費	1
	計		19	計		1
	C.(株)サンテック			F.事務費		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	国有財産の整備に係る電気工事費	75	土地建物借料	土地使用料	59	
計		75	計		59	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関東地方整備局	安全衛生総合会館施設改修業務、安全衛生総合会館建築改修設計業務、日本バイオアッセイ研究センター耐震改修設計業務	241	—	—

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)山田総合設計	安全衛生総合会館建築改修設計業務(前年度より繰り越して契約)	19	—	—
2	(株)マルタ設計	日本バイオアッセイ研究センター耐震改修設計業務(前年度より繰り越して契約)	9	—	—
3	(株)山田総合設計	安全衛生総合会館建築改修設計業務(その2)(国庫債務負担行為で契約)	0	—	—
4	日和エンジニアリング(株)	安全衛生総合会館改修工事監理業務(その2)(国庫債務負担行為で契約)	0	—	—

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サンテック	安全衛生総合会館改修における電気設備改修工事	75	3	93.9%
2	オーク設備工業(株) 東京支社	安全衛生総合会館改修における機械設備改修工事	73	8	89.8%
3	(株)エム・テック 東京支店	安全衛生総合会館改修における建築改修工事	53	3	96.2%

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	柴田科学株式会社	日本バイオアッセイ研究センター実験設備メンテナンス業務	68	1	99.4%
2	文化興業株式会社	日本バイオアッセイ研究センター・ボイラー(1号機)交換工事	57	3	94.9%
3	飯島電気株式会社	大阪安全衛生教育センター直流電源装置更新工事代	25	9	83.2%
4	有限会社福栄	大阪安全衛生教育センターにおける照明器具更新工事代	3	4	59.9%
5	株式会社日立ビルシステム関西支社	大阪労働衛生総合センター空気調和機外オーバーホール工事代	1	随意契約	—
6	株式会社日立ビルシステム関西支社	大阪労働衛生総合センター吸収冷温水機改修外工事	1	随意契約	—
7	株式会社 和設計	大阪安全衛生教育センター直流電源装置更新工事監理業務代	1	随意契約	—

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社蒼設備設計	日本バイオアッセイ研究センターのボイラー交換工事設計業務	1	随意契約	—

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	厚生労働省大臣官房	産業安全会館に係る土地使用料	26	—	—
2	厚生労働省大臣官房	安全衛生総合会館に係る土地使用料	33	—	—